

令和6年度
介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月18日～11月25日



～私たちは介護のプロを応援します～

（公財）介護労働安定センター
岩手支部



修了おめでとうございます



修了者へ贈る言葉

受講生の皆様、介護労働講習の修了、誠におめでとうございます。
岩手支部職員一同、心よりお慶び申し上げます。

今年度はコロナウイルス感染症と共にインフルエンザも猛威を振るい、
講師の方も受講生もマスクを外せない講習でした。

そのような中でも、6ヶ月の講習に毎日通われ、同じ志を持った仲間
と共に、励ましあった時間は、皆様の人生にとって貴重な体験となった
と思います。

介護現場実習も令和2年ぶりに実施できることとなり、机上では体験
できない現場の雰囲気、ご利用者との関わり、職員さんの技術を現場で
学べたことは、大いに皆さんの力となります。

これからの皆さんは、それぞれの職場で、ご活躍されることと思いま
す。この講習で学んだ知識と技術、講習を一緒に過ごした仲間との絆を
思い出し、頑張っていかれることを心より願っております。

岩手支部職員一同



講習風景



講義開始



講義では、“介護の基本”や“利用者の尊厳の保持”、“認知症の理解”“介護保険制度”の体系や目的など、自立支援、介護職としての役割や倫理などの基礎から学び、介護現場で必要な知識や技術について講義・演習を通して体系的に学習します。



医療的ケア演習



「医療的ケア」では、経管栄養、たんの吸引などを実務者研修を通して座学と演習にて丁寧に学びます。



講習風景



福祉用具見学



高齢者体験



就職面接会



カリキュラムの中には、施設見学、福祉用具見学、高齢者体験、接遇研修、修了生講話や事業所紹介、就職面談会などを通じて、介護のことから就職など広く学ぶ体験をいただき、就職へのイメージを持っていただけます。



レクリエーション





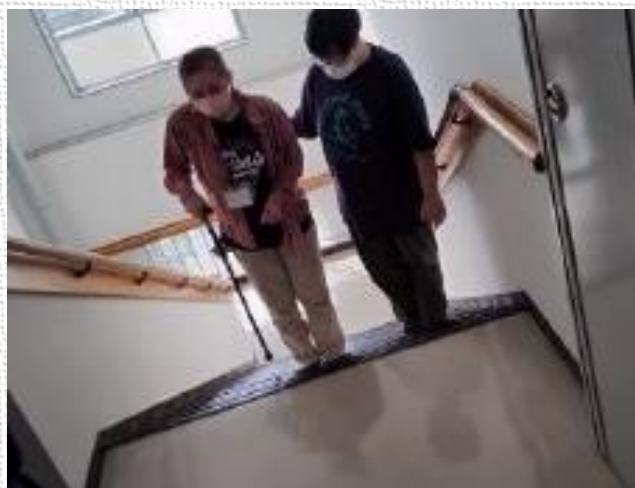
講習風景



生活支援技術



生活支援技術Ⅱでは、ご利用者の生活の支援（お食事、入浴、着替え、移動移乗のための杖歩行や車椅子、ベッドへの移乗など）介護技術を丁寧に学びます。



介護過程Ⅲ 実技



介護過程Ⅲでは、サービスを必要とされている方の情報から課題を見つけ、介護計画の立案について座学で習得し、その事例に基づき実技を学びます。



講習を終えて

今年も多くの受講者が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

介護の勉強を通して沢山のことを学ばせていただきました。認知症に関しては、介護の仕事をする人だけでなく、幅広い年代の人に学んでいく必要があると思いました。そうすることによって、より優しい社会が築けるのではないかと思います。

先生のお話しが、現場の様子や実際に起きた事、自分の失敗談等分かりやすく話して下さり、楽しく学びながらも、気を引きしめたり、考えさせられた。現場で働いた人でなければ、分からない事を沢山知っている先生方のおかげで、学ぶ事の大事さに気が付けて良かったと思う。

受講生の皆さんに支えられての6か月でした。大変有意義な研修でした。施設現場で実際に働いている人達が講師となり、体験談やお話し自体に重みがありました。

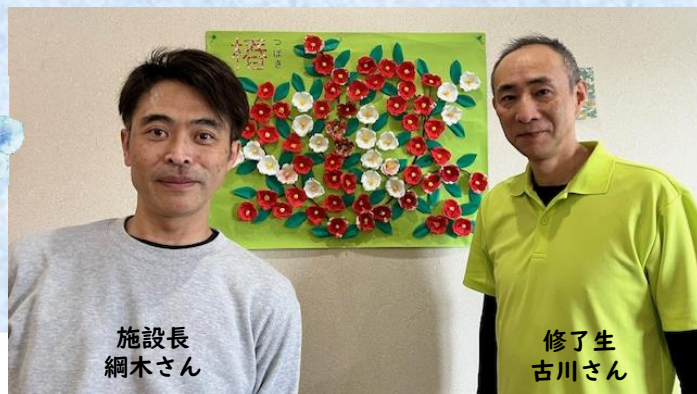
自己覚知や、感情の落ち着かせ方など色々自分に足りない物を気付かせてもらったと思う。施設や法人、会社の考え方を知る事も大事だと知れたし、自分の知らない事が沢山学べた。先生方や、一緒に学んだ仲間のおかげで、あきらめず、自分のペースでできるようにしていきたいと思う。

とても貴重な勉強、体験をさせていただきました。実際に利用者さんと触れ合えた時間も座学があったからこそ、寄り添ってお話を聞きたいと思えたし、実習先で、こういう方みたいな接し方や技術ができたと思う目標になる方もいて、できれば、そんな方々と会える事も願って、介護の仕事をやってみたいと改めて思いました。

たくさんの先生方の経験談等を聞く事ができて、テキストでは理解しにくい部分も理解を深める事ができました。時にはくじけそうになった事もありましたが共に学ぶ仲間がいたので頑張る事ができました。良い雰囲気でしたので、とても助かりました。ありがとうございました。

就職先を訪ねて

令和5年度修了生 古川 晃 さん



介護労働講習で学んだことは？

介護労働講習で学んだことは、基本的な介護技術からコミュニケーションスキル、そして医療的ケア等、多岐にわたります。様々な生活支援や介助の技術を学ぶことで、利用者様の安全と安心を提供することができました。また、認知症への理解を深めることで、適切な接し方や関わり方を実践できるようになりました。これらの知識や技術は、日々の介護現場で実際に生かされており、利用者様との信頼関係を築くことや、心のケアにおいても重要な役割を果たしています。以上の経験を通じて、介護の質が向上し、よりよい支援ができるよう努めています。

実際に介護の仕事に就かれた感想は？

介護の仕事に就いて感じたことは、人の温かさを実感できる場所でしょうか。利用者様と接する中で、笑顔や「ありがとう」という言葉に励まされ、日々の業務に彩りと心の豊かさを与えてくれます。やりがいは、ただ手助けするのではなくその人らしい生活を支えることにあります。目標は利用者様のニーズに寄り添い、最愛の人に接するように最適なサービスを提供することです。介護は大変な面もありますが、それ以上に人とのつながりが深まる素晴らしい職業だと実感しています。

講習内容などについてのご感想は？

介護労働講習は非常に有意義な時間でした。まず、介護の基本的なスキルや知識を体系的に学ぶことが大きな利点です。特に認知症ケアや医療的ケア、コミュニケーション技術に関する単元は実践的で実際の現場での応用が期待できます。また、講習を通じて他の参加者との意見交換ができ、様々な考えや視点を得ることができました。講義だけでなく、実習を通じた体験学習があり、理解を深めるのに役立ちました。私はヘルパーの資格は持っていたのですが、改めて介護の重要性や必要性を再認識できる貴重な機会でした。今後、学んだことを活かして、よりよい介護サービスを提供できるよう努めたいと思います。

これから受講される方へメッセージをお願いします

受講される皆様へまずは新たな一歩を踏み出されたことを心から歓迎します。「置かれた場所で咲きなさい」という言葉があります。どんな環境下でも自分の力を発揮し、成長しようとする姿勢を大切にしてください。この講習は、皆さんが介護の現場で多くの人に寄り添い、支えるための大切な知識とスキルを身につける場です。真摯に打ち込み、共に成長する仲間と出会えることを楽しみにしています。どうぞ前向きな気持ちで臨んでください。

事業主さまから一言 ケアタウンやちだもの家青山駅前 施設長 綱木 新 氏

普段の仕事ぶりはいかがですか？

古川さんの積極的に仕事に取り組んでいる姿勢は素晴らしく、同僚ともコミュニケーションを取りながら、利用者様の安心・安全を考え業務の提案をして頂いています。それが利用者様の『つつがない毎日』につながっています。

これから受講される方へメッセージをお願いします

介護労働講習は、介護の専門的知識や技術を深めるだけではなく、介護の仕事を志す、多くの仲間を作ることができる場だと思います。これからの新たな道には不安があると思いますが、同じ目標を持った仲間と切磋琢磨し、ともに成長しながら新たな一歩を踏み出せる講習です。